

# 「ヒヤリ・ハット」体験事例

令和5年8月～令和6年7月

分類: 収集運搬  
事故の型: 転倒転落

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	自社内	トラックの荷下ろし中	雨で荷台が濡れていたため、足を滑らし、トラックの荷台から転倒・転落しそうになった。	足元注意、無理な体勢で作業しない。
2	取引先現場	下水管清掃作業時	マンホール開口部から墜落しそうになった。	開口部に安全柵を設ける。足元の十分な確認。整理整頓する。
3	取引先現場	構内作業時	吸引ホースにつまづき、転倒しそうになった。	手元、足元に注意し、ホースを固定する。
4	取引先現場	6tバキューム車のタンク内を洗っている時	ピットに落ちしそうになった。	足場などをして転落しないようにする。
5	取引先現場	10tバキューム車のタンク内確認時	足を滑らせて転落しそうになった。	焦らず安全第一で行動する。昇降時、手足元の確認。安全帯を着用する。
6	自社内	作業ヤード内に駐車している重機に乗車しようと徒歩で移動している時	側溝の鉄蓋上が濡れていたため、足が滑り転倒しそうになった。	側溝の蓋に滑り止めテープを貼る。作業ヤード入口に「滑り転倒注意」の注意喚起看板を設置する。

分類: 収集運搬  
事故の型: 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	草をダンプ車で運んでる時	交差点から飛び出してきた車と接触しかけた。	信号が青でも車が出てくる可能性があるため、予測しながら運転する。

2	一般道路	2t車運転中	交差点で、青信号になったため右折しようとしたところ交差道路の左側から10tダンプ車が赤信号にも関わらず交差点に進入してきたため、衝突しそうになった。	交差点では信号のみに頼らず、自分の目で左右の安全確認を行い、余裕をもって運転する。交通ルールを遵守し、安全運転を心がける。
3	取引先現場	積込み時	重機と人が接触しそうになった。	周囲の確認をし、合図をする。
4	一般道路	トラック運転中	突然睡魔に襲われて気が付くと横の車線に移動していた。	次の日が早い時には、早く寝て十分な睡眠をとるようにする。道中も適度に休憩を挟む。
5	一般道路	雨で濡れた滑りやすい道路を10t車で自動運転に切り替えて走行していた時	前の車が止まりそうになったが、自動ブレーキが作動せず、追突しそうになった。	どんな天候であろうと車間距離を必ずとる、自動運転を過信せず、自分で運転する事を心がける。
6	高速道路	片側二車線の右車線を走行中	左車線前方からトラックが車線を変更してきたため、ぶつかりかけた。	トラックの横を並走していたため、相手の視界に入っていなかったと考えられるので相手から距離をとり見やすい位置を走るようにする。
7	一般道路	片側二車線の右車線を走行中	左側前を走行していたダンプトラックがこちらに車線変更しようとしたため挟まれそうになった。当方が減速したので、ダンプトラックは無事故で車線変更できた。	ダンプトラックの死角を走行していたために起こった事案であり、走行中は他車の死角に入らないようにする。
8	一般道路	片側二車線の下り坂で、10t車で追越し車線を走行中	前方で事故が発生し、前車両が次々と急ブレーキをかけたため前車に追突しそうになった。急ハンドルを切って走行車線に逃げ、走行車線の車は路肩に避けてくれたので接触せずにすんだ。	下り坂でのスピードの出しすぎに注意する。車間距離を確保する。心の余裕をもった運転をする。
9	取引先現場	ダンプ車でスクラップ屑を運搬中	方向指示器を出し、左折しようとした際、バイクが左横からスピードを出して追い抜いて来た。すぐに車両を停止したため衝突せずに済んだ。	右左折時は確実に一旦停止し、周囲の状況をよく確認する。
10	高速道路	高速道路走行中	高速道路を清掃している車から急に人が出てきた。	気を付けて運転する。
11	取引先現場	倉庫から荷物の積み込みを行っている時	荷物を積んでいるカートが動いてきて、車両の後ろに接触。挟まれ事故はなかったが、テールランプが破損した。	カートの車輪ロックを行う。車輪ロックのロック機能が正常かを確認する。

12	一般道路	資材運搬中	荷台に積んでいたモーターが運転中に転がり、そのことに気を取られ、視線を一瞬前方から外してしまった。その間に車間距離が縮まり危うく衝突するところだった。	転倒する恐れのある物は、しっかり固定する。運転中は前方より視線を外さない。適切な車間距離を取る。
----	------	-------	---	--

分類: 収集運搬  
事故の型: 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	槽内清掃作業を上から見ている時	吸引のホースが暴れ、顔に接触した。	ロープ等で固定する。暴れそうな場合は近づかない。
2	取引先現場	ユニック車で物を吊り上げようとしている時	ロープがしっかりかかっておらず上げている最中に外れ、フックが顔に当たりそうになった。	確認作業を怠らず、作業を行う際は近寄らない。声掛けの重要性をしっかりと理解し、意思疎通を図り、作業に至る。

分類: 収集運搬  
事故の型: 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
3	自社内	作業を終えバックホーから降車した時	作業ヤード内の地面から、風で舞いあがった粉塵が目に入りそうになった。	作業ヤード内に散水を行い湿潤させ、粉塵が舞いあがりにくくする。保護メガネを着用する。
4	取引先現場	管渠の洗浄中	管渠内の洗浄をするため、高圧洗浄車のホースにノズルを付け圧力レバーを上げた時、ホースが破裂し洗浄水が飛散した。	ホースにノズルを付ける前、ホース内の通水確認、ホース内の残り水が凍結していないか確認する。作業前のホースの劣化状況の確認。ノズルの詰りの確認。
5	取引先現場	木材の運搬中	積み込んでいた生木が道路に落下した。	運搬する時は飛散防止シートをかけロープで固定する。

分 類: 収集運搬

事故の型: 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	ポンプ引き上げ時	ワイヤーとポンプに手を挟まれそうになった。	ポンプの固定、ポンプを正しく支えて引き上げる。
2	取引先現場	側溝の清掃作業中	吸引作業中に溝蓋とアースのアタッチメントで手をつめそうになった。	一部だけ溝蓋をとるのではなく、全部の溝蓋を取る。

分 類: 収集運搬

事故の型: その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	2tユニックでポンプを吊り上げている時	重量が重すぎてユニックが揺れた。	3tユニックで作業する。2tユニックで作業する場合はカウンターウエイトを付ける。

分 類: 中間処理

事故の型: 転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	碎石を積み込んだ後、10tダンプ車に乗車する時	長靴についた泥によって滑ってしまい、ステップを踏み外した。	少しのことでも捻挫や骨折のリスクがあるので、確実に三点支持を行い、昇り降りをする。
2	工場内	梯子を使って、コンベア周りの掃除をしている時	足場が不安定だったため、足元を滑らせ転落しそうになった。	日頃から、整理・整頓・清掃を行い梯子を使って作業する際は、安全ベルトを必ず着用し作業する。
3	工場内	コンガラプラントの見回り中	手選別ラインで、落ちていたコンクリートガラに足をとられて、足首をひねりそうになった。	コンガラプラント稼働後は落下している品物などをきちんと清掃する。

4	工場内	作業開始前に工場の電気をつける時	電気のスイッチを押す際、動線上に物が置いていたため、つまずきそうになった。	普段から整理整頓を意識し、動線上に物を置かないようにする。足元が見えづらい程暗い場合は、懐中電灯を使用する等安全を確保する。
---	-----	------------------	---------------------------------------	--

分類: 中間処理  
 事故の型: 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	選別機で玉砂利の選別作業を行っている時	選別後の玉砂利をユンボで積み込む際、ベルトコンベアとの間隔が狭く、接触しそうになった。	選別後を設置する盤を高くすることで、積み込みを行う際のユンボとベルトコンベアの間隔が取れるようにする。
2	工場内	バックホウで有筋コンクリートガラ破碎時	操作の誤りで長い鉄筋がフロントガラスに接触しそうになった。	慌てずに、確実に作業を行う。1m以上の鉄筋等は移動前にその場で短く切断し集積場へ移動させる。

分類: 中間処理  
 事故の型: 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	重機で塩ビパイプを破碎している時	シートを被せていたが飛んできた。	全てを包み込むようなシートで出口を無くす。
2	工場内	ユンボで混合廃棄物を分けている時	廃棄物の中に潜っていた鉄くずがははねて危なかった。	混合廃棄物を重機で扱う時は気を付ける。
3	工場内	重機で脱着式コンテナに積み込み作業をしている時	コンテナから飛び出た木製の製品を機械で押し込んだ時に、木が折れて飛散し、近くにいる従業員に当たりそうになった。	作業員は、荷物が破損した等で飛散した場合でも、当たることがない距離や障害物がある場所で作業するようにする。重機オペレーターは無理な力を加えないようにする。

分類: 中間処理

事故の型: 挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	砕石を制作するためベルトコンベアにコンクリート・アスファルトがらを投入している時	ベルトコンベアに鉄筋が引っかかり取ろうとしたら、手や服が巻き込まれそうになった。	ベルトコンベアを止めてから、物を取ったり、掃除をするようにする。

分類: 中間処理

事故の型: その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	ショベルローダーで家電を運搬中	家電をかきこんだらリチウム電池がこすれ、火花が散って煙が出た。	かきこまないようにする。初期消火をスムーズに行えるよう訓練する。
2	工場内	廃硫酸を充填している1t容器の荷下ろし作業中	容器の充填口が緩んでいた。	トラック積み込み時に充填口が緩んでいないか確認する。荷下ろし時、フォークリフトで作業する前にコンテナに異常がないか確認する。

分類: 最終処分

事故の型: 衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	場内出入口	帰りに伸縮門扉を閉めようとしている時	伸縮門扉が風にあおられて倒れてきて停車中の車に当たった。	伸縮門扉を閉める時は、車を少し離れたところにとめる。